

第29回バイオメカニズム・シンポジウム in 別府湾 ーまさか！の時のバイオメカニズムー

会 期 2026年 9月 9日（水）～ 9月 11日（金）

会 場 グランドメルキュール別府湾リゾート&スパ
（大分県速見郡日出町大字平道字入江 1825 番）

大会長 菊池 武士（大分大学理工学部）

主 催 バイオメカニズム学会（SOBIM Japan）

夜 話 「減災社会の構築に向けて～災害の教訓をどう活かすか～」
講師：鶴成悦久教授（大分大学減災・復興デザイン教育センター長）

演 題 申 込 締 切 2026年 3月 6日（金）
予 稿 集 原 稿 締 切 2026年 6月 12日（金）
参加および宿泊申込 2026年 5月 1日（金）～ 7月 31日（金）

大会ウェブサイト <http://sobim-conf.com/s2026/>

副 大 会 長 中西 義孝
プ ロ グ ラ ム 委 員 長 坂井 伸朗
実 行 委 員 阿南 雅也, 池内 秀隆, 木塚 朝博,
小池 貴行, 小村 啓, 福永 道彦（五十音順）
シンポジウム事務局 福永 道彦（大分大学理工学部）
E-mail : bms29th@gmail.com



詳細はこちら！！

【協賛団体（予定）】

計測自動制御学会, システム制御情報学会, 情報処理学会, 人工知能学会, 人体科学学会, 精密工学会, 電気学会, 電子情報通信学会, 日本運動生理学会, 日本看護科学学会, 日本看護技術学会, 日本看護研究学会, 日本機械学会, 日本義肢装具学会, 日本義肢装具士協会, 日本建築学会, 日本作業療法士協会, 日本シミュレーション学会, 日本写真測量学会, 日本人工臓器学会, 日本人類学会, 日本生活支援工学会, 日本整形外科学会, 日本生体医工学会, 日本生理学会, 日本体育・スポーツ・健康学会, 日本体力医学会, 日本人間工学会, 日本バイオマテリアル学会, 日本バイオメカニクス学会, 日本福祉のまちづくり学会, 日本補綴歯科学会, 日本理学療法士協会, 日本リハビリテーション医学会, 日本リハビリテーション看護学会, 日本リハビリテーション工学協会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本臨床神経生理学会, 日本臨床バイオメカニクス学会, 日本ロボット学会, 日本ロボット工業会, ヒューマンインタフェース学会, ライフサポート学会, 臨床歩行分析研究会, IEEE EMBS Japan Chapter, IEEE EMBS West Japan Chapter

第 29 回 バイオメカニズム・シンポジウムへのお誘い

◆別府湾を見渡す絶好のロケーションと交流の空間

目の前に広がる別府湾の雄大な景色を眺めながら、様々な分野の研究者と交流を深め、議論を交わしてください。また、名湯に身をゆだね、癒しの時間をお楽しみください。ホテルご到着後に感じるやすらぐ香り、食、アクティビティなど、ご滞在を通してその土地の自然・文化・伝統といった魅力を気の向くままに、存分にご満喫ください。全客室にラウンジアクセスが付きます。各種ワイン、ビールなどのお酒、ソフトドリンクにおつまみが楽しめます。

◆長時間発表・討論、シングルセッション、長文な予稿集原稿

25分という比較的長い発表討論時間を設け、シングルセッションで全ての発表を皆で聴講するスタイルをとります。そのため、異分野の発表に対してもじっくり聴講、議論をしていただけます。予稿集もフルペーパー相当の原稿の長さ（8ページ基準）で、研究の内容を異分野の方にもわかりやすく説明・議論していただけます。

◆選択出版（絶対査読＋相対評価）

シンポジウムでの発表は単なる口頭発表に終らず、査読付学术论文へとつながっていきます。全ての予稿集原稿が査読され、口頭発表に対する評価も加味されたうえで採択された論文が、論文集「バイオメカニズム 28」に収録され出版されます（2027年7月出版予定）。また一部の発表については、「バイオメカニズム学会誌」に原著論文候補として推薦する場合があります。論文集「バイオメカニズム」はすでに27巻の実績があり、この分野を代表する出版物としてこれまで高い評価を受けています。

◆夜話（特別講演）

初日の夕食後の夜話では、大分大学減災・復興デザイン教育センター長として災害の備えから発災時の対応、復旧や復興、そして環境の変化など減災科学を中心とした教育研究を実施されている鶴成 悦久先生にご講演をしていただきます。

夜話概要（予定）：全国各地で発生する自然災害に加え、南海トラフ巨大地震などの切迫性を指摘される今、災害の脅威を無視して社会生活を営むことはできません。そこで一人ひとりの防災意識の向上と共に、自助、共助、公助の役割を通じて、社会全体で被害を軽減する「減災」への取組が進んでいます。この講演では、早期避難の重要性から地震への備え、そして避難所生活から被災者生活に至る近年の自然災害を振り返りながら、一人ひとりが減災社会の一員として果たせる役割について考察します。夜話に集まった皆さまとともに、我々研究者がどのように減災社会に貢献できるのか、その可能性について共に考える一夜となれば幸いです。

◆演題申込 2026 年 3 月 6 日（金） 締切

本シンポジウム公式Webより演題申込用のgoogleフォームへ必要事項を入力していただきますようお願いします。

◆予稿集原稿 2026 年 6 月 12 日（金） 締切

原稿はPDF形式ファイルをメール添付にてご提出いただく予定です。詳細は本シンポジウム公式Webに随時アップいたしております。ご確認ください。

◆参加申込・宿泊・食事申込 2026 年 5 月 1 日（金）～7 月 31 日（金） 締切

いずれも本シンポジウムの公式Webから、参加申し込み用ウェブサイトにアクセスしてください。

宿泊に関して、シンポジウム参加者用として確保している部屋数に限りがあり、規定の部屋数を超えた場合は締め切らせていただきます。締め切り後はご自身で直接ご手配をお願いいたします。なお、ご自身でのご手配の際には本大会用団体特別料金のご利用いただけませんので、ご注意願います。